

## 総会次第

1. 開会の辞
2. 議長団選出
  - ・議長任命
  - ・書記任命
  - ・議事録署名人任命
3. 定足数報告
4. 県士会長挨拶
5. 決議事項
  - ・第1号議案 <令和6年度 会長活動報告・各部事業報告> ..... 2
  - ・第2号議案 <令和6年度 会計報告・監査報告> ..... 29
  - ・第3号議案 <役員選挙> ..... 36
  - ・その他
6. 報告事項
  - <令和7年度 会長事業計画・各部事業計画> ..... 41
  - <令和7年度 当初予算案> ..... 58
  - その他
7. 議長団解任
8. 閉会の辞

## 全般報告

会長 岡庭 隆門

令和6年度は、加速し続けている少子高齢化による医療福祉体制への影響と併せて日本全体の経済状況も医療福祉分野に大きく影を落とし、我々の臨床現場も厳しい財政運営状況におかれました。静岡県作業療法士会は、その中で①地域共生社会構築に向けた地域活動の推進とそれぞれの地域で全ての人の活動と参加を支援できる人材の育成、②医療・介護・福祉・保健・教育・労働・司法の各領域での関わりや対応の推進、③すべての世代の会員が活躍できるためのサポート、④組織連帯の強化、⑤県士会及び事務局機能の強化を骨子として、迅速・適切な判断・対応に努め、公益事業への積極的な参画と事務局機能の強化と共に会員にとって身近な県士会へと力を注いできました。公益事業の普及啓発事業や第37回静岡県作業療法学会をはじめとした各事業も実施体制を検討しつつ、無事終わられましたことにこの場をお借りして深く感謝申し上げます。また、事務局機能では、新たな事務局員体制の整備とサポート・会計機能の整備と部員・委員への謝金の支払い体制のブラッシュアップ、規約・規程の検討整備など機能強化に努め、「協会＝県士会」への体制整備と組織率の維持向上の視点で、会員や退会者に対して県士会の意義と価値を伝える工夫や学生会員制度を施行いたしました。併せて、施設代表者会議を県士会・会員相互の風通しをより良くするため調査部主管に移行し、倫理委員会では年度内に2件の倫理的案件の対応を行うなど、それぞれ該当部局の尽力により真摯に課題に取り組み、事業を継続・実施できておりますことお知らせしたいと思います。

更に、静岡県理学療法士会および静岡県言語聴覚士会で構成される静岡県リハビリテーション専門職団体協議会（以下、三団体協議会）においては、県内35市町が担う介護予防・日常生活支援総合事業への参画、訪問リハビリテーションにおける人材育成研修、大規模災害に備えた静岡JRAT（大規模災害リハビリテーション支援団体協議会）との組織運営など、公益事業を積極的に協働してまいりました。その中で、JRAT活動におきましては令和7年度からの国をあげての体制整備推進に向けて、県内体制の整備情勢が進捗いたしました。

以下公益社団法人運営の3つの柱に基づいて報告いたします。

#### 1. 作業療法に関する学会・研修会の開催と作業療法士の教育向上

研修会や学会など会員の資質向上を目的とした事業は、県民のための公益事業と位置付けています。共生社会を目指して、県や市町、関連団体からの委員や講師派遣の依頼への対応をはじめ様々な場面で広く県民に作業療法士としてその力を発揮し、要望に応えられる適正な人材を育成していくことは大変重要であると考えています。

令和6年度は会員の知識・技術向上を目的に、開催・運営方法の試行を継続し研修会を開催し、自己研鑽の機会を提供いたしました。

第37回静岡県作業療法学会は「誰もがみんな主人公－「出来る、やれる、自分で決める」“ドキドキ・ワクワク”いいかんじ、を共に目指す作業療法であるために－」をテーマとして山本晃弘学会長のもと、対面での開催を致しました。中部地区の実行委員をはじめ多くの会員の皆様のご尽力に心から敬意を表するとともに、今後の学会のあり方の示唆につながる模索いただきましたことに深く感謝を申し上げます。

研修会については、学術部および教育部を中心に県内各地区で開催されました。学術部は分野別に4つの班（高次脳機能障害・モビリティー班、精神障害班、発達領域班、認知症班）の位置づけの中、新たに精神障害班に司法

ワーキングを加え、各分野で研修会を開催しました。教育部は、臨床実習指導者講習会を継続的に開催し、日本作業療法士協会における生涯教育に沿った現職者研修と事例報告会、MTDLP 研修会を開催するとともに、令和7年からの制度移行にもご尽力いただきました。また、制度対策部での研修会に加えて、地域包括ケアシステム推進委員会では地域リハ推進リーダー研修会（基礎編・応用編）、さらに三団体協議会では、訪問リハビリテーション研修会、訪問リハビリテーションシンポジウム、災害リハビリテーション研修会、災害リハ支援者養成研修会を開催しています。

## 2. 作業療法の普及・啓発と広報に関する事業

この事業の目的は、作業療法士が「県民の健康に寄与できる専門職である」ことを啓発し、県下全域の作業療法を普及・展開することにあります。公益性が高く県民の方々に関わる事業や広報活動について、地域事業部・広報部を中心に活動を行いました。令和6年度は、メディアメッセージ2025をはじめ、作業療法士次世代育成事業として高等学校出前事業や施設見学や動画配信を活用した子どもたちの学習サポート事業などが実施されました。また、学術部の各分野班を中心にそれぞれの分野に対応して行政機関との連携強化や地域住民への啓発活動に関わる事業を行い、広報部では従来の会員向け・一般向け広報誌の発刊と併せて、身近な県士会を目指し、HP 運営やプッシュ通知や公式 LINE 運営と共に広報戦略検討事業として、会員を対象とした情報取得に関するアンケート調査を実施しこれからの広報のあり方について検討いただいております。

## 3. 会員の共益に関する事業

当士会では、会員の多くを占める子育て世代の支援と次世代を担う人材の育成が重要課題と考えています。そのため、会員の共益に関する事業に工夫を凝らし、若い世代の会員から多くの「生の声」を聴ける機会を増やしていきたいと考えています。「ライフワークバランス（会員誰もが活躍しやすいプロジェクト）」のワーキングでは情報収集・事業への具体的な対応について各部局と協働して進めています。福利部は、東海北陸リーダー養成研修会及び第10回静岡OTリーダー育成研修会やタウンミーティング、学会のレセプションを通じて人材育成の基礎となる会員同士の繋がり形成に尽力いただき、表彰委員会では、県内養成校卒業生の中から4校各1名ずつの優秀学生の表彰を行いました。

## 4. 公益法人としての士会機能の充実を図る事業

当士会の公益法人としての事務局機能の強化は、大変に重要であり、定款に基づく規約・規程の修正、会計システムや組織体系の醸成が挙げられます。事務局員の交代に伴う引き継ぎや安定的業務遂行のための支援・調整を重点に据えて実施することと併せて、当士会が公益法人として、協会＝県士会への組織管理体制への移行や、未来を見据えた計画的な運営がなされるよう、「県士会の中長期ビジョン」ワーキングと予算審議委員会を継続するとともに、組織強化の基盤となる第3回施設代表作業療法士会議を開催いたしました。今後も引き続いて組織力強化と長期的な視野に立った取り組みに努めてまいりたいと考えております。

以上、令和6年度の主な活動報告であり、詳細については以下の各部報告をご参照下さい。

令和6年度 会長活動

日 付	事 業
令和6年4月2日	専門学校 富士リハビリテーション大学校 入学式
令和6年4月2日	聖隷クリストファー大学 入学式
令和6年4月19日	新人オリエンテーション
令和6年4月20日	自民党静岡県リハ関連職種懇談会
令和6年4月20日	日本作業療法士協会総会
令和6年4月20日	令和6年度 第一回理事会
令和6年5月26日	日本作業療法士協会総会
令和6年6月10日	48委員会幹事会
令和6年6月12日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会事務局会議
令和6年6月22日	令和6年度 第二回理事会
令和6年7月6日	48委員会
令和6年7月18日	専門学校富士リハビリテーション大学校講義（職業倫理）
令和6年7月31日	専門学校富士リハビリテーション大学校教育編成委員会
令和6年8月1日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会事務局会議
令和6年8月10日	令和6年度 第三回理事会
令和6年9月2日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会事務局会議
令和6年9月14日・15日	第23回東海北陸作業療法学会 ・東海北陸会長会議
令和6年9月21日・22日	48委員会
令和6年10月12日	令和6年度 第四回理事会
令和6年10月26日	東部地区タウンミーティング
令和6年11月18日	静岡県自立支援協議会 地域移行部会
令和6年11月21日	聖隷クリストファー大学（職業倫理） 講義
令和6年11月22日	48委員会（オンライン）
令和6年12月5日	県立ち入り検査
令和6年12月18日	専門学校富士リハビリテーション大学校 20周年式典
令和6年12月21日	令和6年度 第五回理事会

令和7年1月11日	三団体連絡協議会定例会
令和7年2月15日	令和6年度 第六回理事会
令和7年3月5日	専門学校富士リハビリテーション大学校 卒業式
令和7年3月22日	令和6年度 臨時理事会
令和7年3月29日	臨時三団体連絡協議会会議

## 令和6年度 各部事業報告

### 【渉外部】

1. 日本作業療法士協会長・都道府県士会長会議への出席
2. 日本作業療法士協会制度対策部との連携
3. 三団体協議会役員会への出席
4. 各種関連団体の学会・公開講座等への後援，記念式典への出席
5. 県内養成校の入学式，卒業式への対応
6. 静岡県や行政機関との会議・検討会への出席
7. 自治体事業等への委員派遣
8. 自治体，関連団体への講師派遣
9. その他，渉外交流活動

### 【東海北陸作業療法連絡会】

1. 東海北陸リーダー養成研修会

開催日：令和6年11月23日（土）

会 場：オンライン開催（三重県）

参加者：小倉 和大 氏（フジ虎ノ門整形外科病院），森下 耕一郎 氏（ももはクリニック石坂）

平尾 和基 氏（NTT東日本伊豆病院），伊井 玄 氏（静岡済生会療育センター令和）

土井 亮佑 氏（中伊豆リハビリテーションセンター）

### 【学術部】

1. 学術部研修会

- 1) 高次脳機能障害・モビリティー班

- ①第33回勉強会（講演会）

開催日：令和6年7月28日（日）

会 場：浜松市リハビリテーション病院

講 師：片桐 伯真 氏（聖隷三方原病院 副院長）

『今求められる高次脳機能障害者の支援について～今こそみんなで話そう～』

参加者：19名

②第34回研修会（講演会）

開催日：令和7年1月27日（月）

会 場：オンライン

講 師：山根 伸吾 氏（令和健康科学大学 教授）

『高次脳障害と作業を結び地域での生活を支援するために必要な視点』

参加者：31名

2) 精神障害班

①第1回研修会

開催日：令和6年8月25日（日）

講 師：岡庭 隆門 氏（静岡県立こころの医療センター）

テーマ：精神科作業療法士のきほんの「き」

～臨床で信頼され、ちゃんと役立つ作業療法士として～

会 場：静岡県男女共同参画センターあざれあ

参加者：41名

②第2回研修会

開催日：令和6年12月7日（土）

会 場：三島市民文化会館（ハイブリッド開催）

テーマ：「ピア活動を知ろう」

講 師：後藤 康浩 氏（東部健康福祉センター福祉課主査・精神保健福祉士）

ピアサポーター2名

参加者：8名

③第3回研修会（司法WGと共催）

開催日：令和7年2月6日（木）

会 場：法務省矯正局 府中刑務所

内 容：府中刑務所見学，司法領域の作業療法

参加者：25名

④ワーキンググループ

1. 第2回ピアワーキングへの部員派遣

開催日：令和6年9月25日（水）

会 場：オンライン会議

参加者：杉野 匠 氏（小笠病院）

2. 令和6年度静岡県ピア交流会への運営協力

開催日：令和6年10月6日（日）

会 場：静岡県庁別館

参加者：明石 幸子 氏（神経科浜松病院）

3. 第3回研修・ピアワーキングへの部員派遣

開催日：令和6年11月7日（木）

会 場：オンライン会議

参加者：岡庭 隆門 氏，川口 恭子 氏，明石 幸子 氏

4. 令和6年度精神障害者地域移行定着推進研修の運営協力へ部員派遣

開催日：令和6年12月2日（月）

会 場：グランシップ

参加者：岡庭 隆門 氏，川口 恭子 氏，杉野 匠 氏

5. 第4回研修・ピアワーキングへの部員派遣

開催日：令和7年1月30日（木）

会 場：オンライン会議

参加者：杉野 匠 氏，山本 晃弘 氏

### 3) 発達領域班

#### ①スキルアップ研修会

開催日：令和6年8月17日（土）

会 場：浜松市福祉交流センター

内 容：事例検討会 発達障害分野と肢体不自由分野についてのグループワーク

講 師：浅井 明美 氏（聖隷三方原病院 おおぞら療育センター）

野島 いずみ 氏（浜松市根洗学園）

参加者：20名

#### ②人材育成研修会

開催日：令和7年1月25日（土）

会 場：三島市商工会議所

テーマ：豊かな園・学校生活を支援するためのOTスキル

講 師：酒井 康年 氏（うめだあけぼの学園）

参加者：33名

#### ③公開講座

開催日：令和6年10月27日（日）

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

テーマ：「教室で気になる行動にはワケがある！～子どもの行動を作業療法士の始点で考える～」

講 師：渡邊 智史 氏（富士市教育委員会 学校教育課 特別支援教育センター）

### 4) 認知症班

#### ①認知症作業療法アップデート研修会

開催日：令和6年8月25日（日）

会 場：オンライン開催

講 師：川村 明広 氏（鷹岡病院），石切山 淳一 氏（静岡リハビリテーション病院）

参加者：18名

## ②情報交換会

開催日：令和6年11月6日（水）

会 場：オンライン開催

## ③認知症作業療法ステップアップ研修会

開催日：令和7年1月26日（日）

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ（ハイブリッド開催）

テーマ：「認知症最前線！～施策動向から，知識・実践的スキル，地域活動の展開まで」

講 師：山口 智晴 氏（群馬医療福祉大学）

参加者：31名

## ④認知症作業療法WG研修会

開催日：令和7年2月9日（日）

会 場：三島市民文化会館

内 容：認知症カフェでの取り組み

講 師：河合 穂波 氏（浜北さくら台病院），原川 均 氏（静岡県立田方農業高校）

三輪 尚人 氏（静岡医療科学専門学校）

参加者：12名

## 2. 第37回静岡県作業療法学会

開催日：令和6年6月1日（土）・6月2日（日）

会 場：グランシップ

テーマ：誰もがみんな主人公 －「出来る，やれる，自分で決める」 “ドキドキ・ワクワク”  
いいかんじ，を共に目指す作業療法であるために－

学会長：山本 晃弘 氏（グリーンワークス・リラ）

参加者：406名

## 3. 学術部各地区会議（随時）

1) 東部地区：第38回学会に向けた査読管理を実施

2) 中部地区：第37回学会に向けた情報収集，共有，準備を実施

3) 西部地区：第38回学会（中部地区開催）に向けた情報収集，演題管理を実施

#### 4. 学術部責任者会議（6回）

開催日：令和6年4月，5月，6月，8月，10月，令和7年1月

内 容：学会演題採択，班活動，WG活動の報告と課題の検討

会 場：オンライン開催

### 【教育部】

#### 1. 現職者研修

##### 1) 第1回現職者共通研修（新人オリエンテーション）

開催日：令和6年5月19日（日）

会 場：レイアップ御幸町（原則参集：一部web）

生涯教育制度の概要について

講 師：秋山 尚也 氏（浜松市リハビリテーション病院）

テーマ①：「作業療法生涯教育概論」

講 師：岡庭 隆門 氏（静岡県立こころの医療センター）

テーマ②：「作業療法における協業・後輩育成」

講 師：渡邊 信介 氏（湖山リハビリテーション病院）

テーマ③：「実践のための作業療法研究」

講 師：村岡 健史 氏（常葉大学）

参 加 者：89名

##### 2) 現職者選択研修（身体障害領域の作業療法）

開催日：令和6年10月6日（日）

会 場：プラサヴェルデ（ハイブリッド開催）

テーマ1 身体障害領域の基礎知識

講 師：市村 紋子 氏（専門学校富士リハビリテーション大学校）

テーマ2 急性期の作業療法

講師：増田 昌行 氏（中東遠総合医療センター）

テーマ3 回復期の作業療法

講師：生田 純一 氏（中伊豆リハビリテーションセンター）

テーマ4 生活期・終末期の作業療法

講師：齊藤 洋平 氏（NTT 東日本伊豆病院）

参加者：現地参集 23 名， オンライン 53 名 【計 76 名】

### 3) 第2回現職者共通研修

開催日：令和6年11月17日（日）

会場：静岡医療科学専門大学校（ハイブリッド開催）

テーマ3 職業倫理

講師：藤田 さより 氏（聖隷クリストファー大学）

参加者：現地 47 名 ， オンライン 46 名 【計 93】

テーマ4 保健・医療・福祉と地域支援

講師：秋山 尚也 氏（聖隷沼津病院）

参加者：現地 47 名 ， オンライン 41 名 【計 88 名】

テーマ6 『作業療法の可能性』

講師：建木 健 氏（えんしゅう支援Net）

参加者：現地 46 名 ， オンライン 40 名 【計 86 名】

テーマ7 『日本と世界の作業療法の動向』

講師：大庭 英章 氏（静岡医療科学専門大学校）

参加者：現地 46 名 ， オンライン 43 名 【計 89 名】

## 2. 事例報告会

### 1) 東部・中部・西部地区

①開催日：令和6年8月18日（日）・12月14日（土）

会 場：オンライン開催

内 容：「事例報告と事例研究」，第1回「事例検討」「事例報告」

講 師：鹿田 将隆 氏（常葉大学）

参加者：43名

テーマ9, 10『事例検討』，『事例報告』

座 長：A 上杉 治 氏（浜松市リハビリテーション病院）

B 串田 雄一郎 氏（静岡リハビリテーション病院）

参加者：テーマ9 56名，テーマ10 9名（発表者）

【第2回 『事例検討』，『事例報告』】（現職者共通研修テーマ9, 10）東部地区担当

開催日：2024年12月14日（土）

会 場：オンライン研修（基地局：富士いきいき病院・各自宅）

座 長：A グループ 間瀬 亜由美 氏（富士リハビリテーション大学校）

B グループ 中村 每途 氏（富士リハビリテーション大学校）

参加者：事例検討11名，事例報告18名（発表者）【計30名】

### 3. 臨床実習指導者講習会

①開催日：令和6年7月20日（土）・21日（日）受講者57名

②開催日：令和6年10月19日（土）・20日（日）受講者50名

### 4. MTDLP 研修会

#### 1) MTDLP 基礎研修会（現職者選択研修＜必修＞）

内 容：MTDLP 概論，演習，日本作業療法士協会事例報告登録システムへの申請方法などの学習

①開催日：令和6年9月8日（日）

会 場：レイアップ御幸町ビル

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲福祉センター），泉 良太 氏（聖隷クリストファー大学）

ファシリテーター 他

参加者：55名

②開催日：令和7年2月9日（日）

会 場：レイアップ御幸町ビル

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），青柳 翔太 氏（静岡医療科学専門大学校）

ファシリテーター 他

参加者：39名

2) 『MTDLP を活用した臨床実習指導者 実務者研修会』（MTDLP 書き方講習会）

内 容：臨床実習における MTDLP シートの活用方法と指導ポイントの学習

①開催日：令和6年5月26日（日）

会 場：オンライン開催

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター）他 ファシリテーター

参加者：4名

②開催日：令和6年11月10日（日）

会 場：オンライン開催

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター）他 ファシリテーター

参加者：1名

3) MTDLP 実践者研修（MTDLP 事例報告会）

内 容：一事例 45 分間の事例検討を通して，MTDLP を実践・推進できる指導者育成をサポート

①開催日：令和6年5月26日（日）

中止

②開催日：令和6年11月10日（日）

会 場：オンライン開催

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター）他 ファシリテーター

参加者：発表者1名 聴講者4名

4) MTDLP 実践者研修（MTDLP 事例検討会）出前講座

開催日：令和7年1月29日（水）

会 場：オンライン開催

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），

青柳 翔太 氏（静岡医療科学専門大学校），ファシリテーター 他

内 容：協会が指定する一事例 45 分間の事例検討会（発表・ディスカッション込）

参加者：発表者 2 名 聴講者：14 名（発表者込）

## 5) 教育部会

開催日：令和 6 年 7 月 30 日（火）対面

令和 6 年 11 月 25 日（月）オンライン

令和 7 年 2 月 8 日（土）オンライン

出 席：稲葉 洋介 氏（MTDLP 推進班担当理事）

内 容：MTDLP 班活動報告，事業計画打ち合わせ

## 6) MTDLP 推進班 部会

開催日：令和 6 年 11 月 12 日（火）

会 場：オンライン開催

参加者：8 名

## 7) 日本作業療法士協会 MTDLP 全国推進会議（WEB 出席）

開催日：年 3 回 （8 月，12 月，3 月）

会 場：オンライン開催

出 席：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター）

## 8) 日本作業療法士協会 生涯教育制度の問い合わせ等への対応

## 5. 教育部会

### 1) 教育部会

開催日：令和 6 年 5 月，7 月，9 月，12 月，令和 7 年 2 月

会 場：オンライン開催（令和 7 年 2 月は参集し全体会議開催）

内 容：新生涯教育制度について，事業報告，事業計画

6. 日本作業療法士協会 生涯教育制度推進委員会・MTDLP 推進委員会への出席
7. 日本作業療法士協会 生涯教育制度の問い合わせ等への対応

## 【広報部】

### 1. 広報活動

- 1) 広報誌（OT しずおか）No. 153～No. 156 号の発送・発行

- 2) 一般向け広報誌の発刊（年 1 回，Vol. 9）

「今から考える，入りやすいトイレの環境！」

広報誌設置場所 45 ヶ所

- 3) 広報啓発グッズの作製と配布

地域事業部や学会実行委員等，各部局と協力し配布・啓発活動の実施，不足分の追加作成

### 2. 県士会ホームページ・SNS の管理・運営

- 1) HP の運営（情報の更新，アクセス解析）

- 2) push 通知システムの運用（希望者：522 名）

公式 LINE の運営（友達登録：352 名）

※令和 7 年 2 月

### 3. 広報戦略検討事業

- 1) 静岡県作業療法士会会員を対象とした情報取得に関するアンケート調査の実施

### 4. 広報部会の開催

- 1) 会議の開催 2 回（対面会議 1 回，オンライン会議 1 回）

## 【福利部】

### 1. 第 10 回静岡 OT リーダー育成研修会

開催日：令和 6 年 11 月 16 日（土）・17 日（日）

会 場：エスプラッド・フジスパーク

内 容：講義 1 「OT として成長するために必要なこと ～リーダー研修，県士会活動を通じた学び～」

講師：伊海 友雪 氏（中伊豆リハビリテーションセンター）

講義 2 「医療現場におけるリーダーシップとマネジメント」

講師：大石 裕也 氏（静岡リハビリテーション病院）

演習：問題点抽出，利用可能な利点の整理，解決案の模索をディスカッション形式で実施

ナイトセミナー

参加者：5名

## 2. タウンミーティング・各地区新人歓迎会の支援

開催日：令和6年10月26日（土）

開催地：東部地区

内 容：東部地区会員と県士会長との意見交換を実施

東部地区新人関係会を実施

参加者：30名

## 3. 第37回静岡県作業療法学会レセプション

開催日：令和6年6月1日（土）

会 場：グランシップ

参加者：92名

## 4. 福利部会の開催

### 【制度対策部】

1. 日本作業療法士協会制度対策部との連携（情報収集，問い合わせへの対応）

2. 医療保険・介護保険・障害福祉関連情報発信（ホームページ）

3. 制度対策部研修会

1) 第1回制度対策部研修会

開催日：令和6年12月20日（金）

会 場：オンライン

テーマ：医療機関に所属している人が、どのように地域事業に関与しているか

講師：小渕 浩平 氏（長野県松代総合病院 作業療法士）

参加者：27名（県外OT, 学生含む）

## 2) 第2回制度対策部研修会

開催日：令和7年1月24日（金）

会場：オンライン

テーマ：データから考える作業療法マネジメント

講師：澤田 辰徳 氏（東京工科大学 作業療法士）

参加者：41名（非会員2名）

## 4. 制度対策部会の開催

### 【調査部】

#### 1. 第37回静岡県作業療法学会 学会参加者アンケート作成・実施

学会参加者アンケート回収数：88名

#### 2. 日本作業療法士協会 生活環境支援推進室「生活行為工夫情報」活動

##### 1) 令和6年度 ブロック運営連絡会

第1回 令和6年5月23日（木）オンライン会議

第2回 令和6年12月23日（月）オンライン会議

##### 2) 令和6年度 中部ブロック連絡会議

第1回 令和6年6月26日（水）オンライン会議

第2回 令和7年2月5日（水）オンライン会議

##### 3) SIG 創造塾学術集会（生活行為工夫情報説明会）

第26回学術集会

開催日：令和6年5月11日（土）

会場：中伊豆温泉病院

参加者：26名

第 27 回学術集会

開催日：令和 7 年 2 月 11 日（火）

会 場：富士リハビリテーション大学校

参加者：19 名

3. 第 3 回施設代表作業療法士会議 企画・運営

開催日：令和 7 年 1 月 18 日（土）

会 場：オンライン会議

参加者：88 名

【中長期ビジョン WG】

1. 今後の県士会運営についての検討および提案
2. 意見交換の実施（メールによる意見交換含む）
  - 1) 会員組織率の維持と会員への還元についての検討
  - 2) 組織の見える化について検討
  - 3) 研修会事業等の最適化について提案

【ライフワークバランス WG】

1. 「会員誰もが活躍しやすい県士会を目指すプロジェクト」について検討・企画
  - 1) 「参加しやすい県士会」について検討
  - 2) 「離職者の再就職支援」について検討
  - 3) 「子育て世代の支援」について検討
2. 各種県士会活動への提言

## 【地域事業部】

### 1. 作業療法士次世代育成

#### 1) 高校生施設見学

開催日：令和6年7月29日（月）～9月1日（日）

会 場：作業療法士が勤務する各病院・施設等

参加者：16名（うち保護者1名）

#### 2) 高校出前講座

開催日：令和6年11月8日（金）（25分×3回）

会 場：静岡市民文化会館（対象：1年生静岡女子高校15名）

講 師：小川 元大 氏（静岡医療科学専門学校）

参加者：15名

内 容：職業紹介、協会の資料と動画を使用してOTについて説明、養成校の説明

ゴニオメーター、打腱器、TMTなどを説明して触れるなど行った。

### 2. 一般市民作業療法見学

参加者なし

### 3. 子どもたちの学習サポート事業

開催日：令和6年6月1日（土）～8月31日（土）

方 法：動画配信

内 容：自助具作成動画配信

対 象：自由研究の課題として県内全域の小学5・6年生対象、県士会HPに配信

参加者：動画視聴回数（YouTube）310回、作製に関する返信6件、自助具に関する問い合わせ1件

### 4. しあわせフォトコンテスト

開催日：令和6年9月1日（日）～12月31日（火）（インスタグラムにて募集）

方 法：SNS 配信

対 象：高校生，大学，専門学校生

参加者：フォロワー者 21 名，アカウントへのアクセス数 通算 954 件，作品応募 9 件

選考の結果受賞者なし

内 容：写真募集,テーマ「写真で伝える〇〇」

“〇〇”の部分には「未来」「チャレンジ」「小さな幸せ」「SDSGs(健康・福祉)」「ドラマチックな瞬間」の中から選択されたテーマに沿った写真を募集.

#### 5. 福祉イベント参加事業

開催日：令和6年10月14日（月）

会 場：キラメッセぬまづ

参加者：109名（うち自助具作製体験者：20名 ※20名限定）

内 容：作業療法紹介・相談・自助具作製体験

#### 6. メディメッセージ 2024

開催日：令和6年10月26日（土），10月27日（日）

会 場：ツインメッセ静岡

参加者：1日目 子ども 334名 大人 357名

2日目 子ども 471名 大人 405名

合 計 子ども 805名 大人 762名 計 1567名

内 容：自助具体験，高次脳機能の紹介，作業バランス体験，感覚遊び体験など

#### 7. スポーツ振興事業

開催日：令和6年4月25日（木），5月22日（水），6月19日（水），7月24日（水），  
8月28日（水），9月25日（水），10月30日（水），11月27日（水）

参加者：計 85 名

内 容：フットサル定期練習会

**【法人管理委員会】**

1. 情報収集活動の継続
2. 法人としての団体の管理
3. 他団体との法人管理に関する情報交換及び情報提供
4. 細則の作成及び修正
5. 定期提出書類の作成及び提出
6. 県の立ち入り検査への準備・対応

**【災害対策委員会】**

1. 第 13 回静岡災害リハビリテーション研修会の開催：令和 6 年 12 月 7 日（土）
2. 令和 6 年度静岡災害リハ支援者養成研修会の開催：令和 6 年 7 月 27 日（土）
3. 静岡 JRAT・三団体協議会災害対策合同委員会への出席
4. 委員の増員：2 名
5. 情報伝達手段の準備
6. 災害時緊急連絡システムの構築及び災害訓練
7. JIMTEF 研修会への委員参加
8. 災害時緊急対応マニュアル完成・運用開始
9. 第 37 回静岡県作業療法学会，第 58 回日本作業療法学会での発表
10. 他団体との連携

**【訪問リハビリテーション連絡委員会】**

1. 訪問リハビリテーション地域リーダー会議への出席  
開催日：令和 6 年 8 月 24 日（土）  
会 場：オンライン開催

## 2. 訪問リハビリテーション研修会(人材育成研修会)の開催

テーマ：「リハ・口腔・栄養の連携を考える」～口からはじめる地域連携とリハ専門職の役割～

開催日：令和6年12月1日（日）

会 場：静岡労政会館（会場参加 および オンライン参加（Zoom））

講 師：

### 1. 「在宅高齢者の栄養について」

栗原 理江 氏（認定栄養ケア・ステーション ちよぼ 管理栄養士）

### 2. 「歯科衛生士がレクチャー ～在宅での口腔健康管理～」

佐藤 美紀 氏（さくらばし歯科医院 歯科衛生士）

### 3. 「言語聴覚士の在宅での口腔・栄養への関わり」

川邊 圭太 氏（中伊豆リハビリテーションセンター 言語聴覚士）

### 4. 「理学療法士の在宅での口腔・栄養への関わり」

横田 美由紀 氏（浜松市リハビリテーション病院 理学療法士）

参加者数：101名

職種別内訳：PT：36名，OT：15名，ST：16名，看護師：3名，管理栄養士：7名，

歯科衛生士：17名，その他：4名

## 3. 訪問リハビリテーションシンポジウムの開催

令和6年度 訪問事業における連携強化と在宅医療の推進シンポジウム

開催日：令和7年2月9日（日）

会 場：静岡県男女共同参画センター あざれあ

内 容：講演「地域医療における各専門職の取り組み」

シンポジウム「栄養・口腔・リハビリテーションの相互理解と連携における課題の共有  
～静岡モデルの検討～」

講師：

【講演】

杉本 尚子 氏（認定栄養ケア・ステーション なる（食支援・栄養ケア なる管理栄養士）

佐藤 美紀 氏（さくらばし歯科医院 歯科衛生士）

金田 英理 氏（医療法人社団 心 坂の上ファミリークリニック

訪問リハビリテーション事業所 言語聴覚士）

【シンポジウム】

小野 宏志 氏（一般社団法人静岡県医師会

（医療法人社団 心 坂の上ファミリークリニック）医師）

高関 左保 氏（訪問看護ステーション上西 看護師）

杉本 尚子 氏（認定栄養ケア・ステーション なる（食支援・栄養ケア なる）  
管理栄養士）

佐藤 美紀 氏（さくらばし歯科医院 歯科衛生士）

金田 英理 氏（医療法人社団 心 坂の上ファミリークリニック

訪問リハビリテーション事業所 言語聴覚士）

参加者：109名

職種別内訳：医師1名，歯科医師2名，看護師9名，PT20名，OT10名，ST31名，  
管理栄養士10名，歯科衛生士10名，栄養士1名，介護支援専門員5名，介護福祉士1名，  
介護士1名，社会福祉士1名，行政4名，地域包括支援センター1名，その他2名

【地域包括ケアシステム推進委員会】

1. 運営会議

開催日：令和6年5月，11月，令和7年2月（年3回オンラインまたは現地開催）

内容：当年度計画，研修会話し合い，次年度計画

2. 人材育成事業

1) 地域リハ推進リーダー研修会（基礎編・応用編）

①地域リハ推進リーダー研修会（基礎編）

開催日：令和6年9月1日（日）～9月30日（月）

会 場：オンデマンド

参加者：30名（東部：14名，中部：9名，西部：7名）

②地域リハ推進リーダー研修会（応用編）

開催日：令和6年10月26日（土）

会 場：現地参集（東中西 WEB で連携）

東部：沼津市歯科医師会館

中部：県士会事務局会議室

西部：聖隷クリストファー大学

参加者：15名

応用編：ハイブリッド（各地区参集型）にて開催

2) 地域リハ推進リーダー スキルアップ研修（実践者報告会）

①実践者研修について

開催日：令和7年1月26日（日）

会 場：レイアップ御幸町ビル

参加者：12名（OT8名・行政職4名）

内 容：短期集中予防サービスについて

4. 日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会との情報共有と情報発信

5. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会地域包括ケアシステム推進委員会との連携

【表彰委員会】

1. 令和6年度静岡県作業療法士会功労表彰の実施

会報誌等へ掲載 学会の開催方法に合わせた式典を実施

2. 令和6年度静岡県作業療法士会感謝状授与の実施

会報誌等へ掲載 学会の開催方法に合わせた式典を実施

3. 日本作業療法士協会・各団体からの表彰対象者の選考及び推薦，ホームページへの掲載依頼
4. 県内養成校優秀学生の表彰（4校各1名）

【事務局・財務部・総務部】

1. 事務局

1) 会員管理業務

- ①会費請求・会費入金処理・会員管理システム管理運営
- ②会費督促状の作成・発送

2) 県士会窓口業務

- ①対外的な窓口・公文書への対応
- ②会員からの問い合わせ対応等

3) 事務局の維持管理

- ①事務所及び備品の管理運営
- ②県士会の維持管理

4) 倫理委員会（臨時）開催

- ・令和6年10月23日（水）web開催
- ・令和6年11月14日（木）web開催

2. 財務部

1) 会費・運営費の管理

- ①各部局の出納帳確認と会計ソフト入力

2) 予算書・財務諸表作成

3) 会計マニュアルの修正・作成

4) 財務部会・会計担当者会議の開催

5) 部員謝金・当日運営スタッフ謝金支給

### 3. 総務部

#### 1) 理事会の運営

#### 2) 総会の運営

①総会議案集の作成・発送

②令和6年度定時社員総会開催

#### 3) 規程等規約検討・作成

①規約検討委員会の開催

#### 4) 総務部会の開催（理事会前に開催）

#### 5) 永年会員制度・学生会員制度の導入・運用

#### 6) 県士会部局退任者への感謝企画の運用



# 決 算 報 告 書

第 8 期

自 令和 6年 4月 1日

至 令和 7年 3月 31日

## 貸借対照表

令和 7年 3月 31日 現在

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 資産の部</b>			
<b>1 流動資産</b>			
現金	66,818	0	66,818
普通預金	2,864,378	9,791,852	△ 6,927,474
郵便貯金	160,000	120,000	40,000
未収金		1,703,000	△ 1,703,000
仮払金		596,285	△ 596,285
流動資産 合計	3,091,196	12,211,137	△ 9,119,941
<b>2 固定資産</b>			
<b>特定資産</b>			
第26回東海北陸学会積立金	6,000,000	6,000,000	0
事業所取得資金積立金	5,000,220	5,000,120	100
固定資産 合計	11,000,220	11,000,120	100
<b>資産 合計</b>	14,091,416	23,211,257	△ 9,119,841
<b>II 負債の部</b>			
<b>1 流動負債</b>			
未払金		25,086	△ 25,086
前受金		153,000	△ 153,000
預り金		55,524	△ 55,524
未払費用		268,368	△ 268,368
流動負債 合計		501,978	△ 501,978
<b>負債 合計</b>	0	501,978	△ 501,978
<b>III 正味 財産の部</b>			
<b>1 一般 正味財産</b>	14,091,416	22,709,279	△ 8,617,863
(内特定資産への充当金)	11,000,220	△ 11,000,120	22,000,340
<b>正味財産 合計</b>	14,091,416	22,709,279	△ 8,617,863
<b>負債及び正味財産合計</b>	14,091,416	23,211,257	△ 9,119,841

# 正味財産増減計算書

令和6年4月1日 から 令和7年3月31日まで

(単位：円)

科目	当年度	前年度	増減
<b>I 一般正味財産増減の部</b>			
<b>1 経常増減の部</b>			
(1) 経常収益			
①受取会費			
正会員受取会費	13,654,500	13,480,800	173,700
賛助会員受取会費		20,000	△ 20,000
②事業収益			
教育事業収益	1,425,325	1,509,000	△ 83,675
学術事業収益	122,830	208,000	△ 85,170
広告収入	448,000	286,890	161,110
学会事業収入		1,173,500	△ 1,173,500
研修事業収益	1,994,550	95,325	1,899,225
③受取補助金等			
受取地方公共団体補助金		1,703,000	△ 1,703,000
④雑収益			
受取利息	4,828	284	4,544
雑取他	482,192	-	482,192
経常収益 計	18,132,225	18,476,799	△ 344,574
(2) 経常費用			
①事業経費			
給料手当	189,352	1,748,799	△ 1,559,447
旅費交通費	1,200,917	935,092	265,825
通信運搬費	1,647,089	2,030,756	△ 383,667
消耗什器備品費	1,093	84,600	△ 83,507
消耗品費	333,876	196,449	137,427
印刷製本費	1,095,150	858,008	237,142
賃借料	4,622,387	760,778	3,861,609
保険料		14,346	△ 14,346
諸謝金	2,628,559	3,874,824	△ 1,246,265
租税公課	2,334	1,700	634
支払助成金	523,800	565,400	△ 41,600
委託費	1,889,621	2,842,128	△ 952,507
雑費	44,676	-	44,676
支払手数料	376,554	282,237	94,317
渉外費	106,524	93,622	12,902
広告宣伝費	778,819	117,831	660,988
会議費	1,999	2,007	△ 8
福利厚生費	382,318	19,770	362,548
外注費	3,489,097	147,891	3,341,206
事業経費 計	19,314,165	14,576,238	4,737,927
②法人管理費			
給料手当	126,248	1,165,878	△ 1,039,630
法定福利費		361,652	△ 361,652
会議費	109,335	93,254	16,081
旅費交通費	368,160	354,960	13,200
通信運搬費	125,776	288,123	△ 162,347
消耗什器備品費	744	49,809	△ 49,065
消耗品費	388,994	243,956	145,038
印刷製本費	895,967	609,476	286,491
光熱水料費	181,642	152,589	29,053
賃借料	1,220,256	1,236,019	△ 15,763
保険料		18,540	△ 18,540
諸謝金	1,015,240	59,019	956,221
渉外費	129,850	40,895	88,955
委託費	473,726	659,052	△ 185,326
支払手数料	73,910	14,380	59,530
福利厚生費		59,241	△ 59,241
外注費	2,326,075	98,601	2,227,474
法人管理費 計	7,435,923	5,505,444	1,930,479
経常費用 計	26,750,088	20,081,682	6,668,406
評価損益等調整前当期経常増減額			
評価損益等 計	-8,617,863	-1,604,883	△ 7,012,980
当期経常増減額	-8,617,863	-1,604,883	△ 7,012,980
<b>2 経常外増減の部</b>			
(1) 経常外収益			
経常外収益		-	0
経常外収益 計		-	0
(2) 経常外費用			
経常外費用 計		-	0
当期経常外増減額		-	0
税引前当期一般正味財産増減額	-8,617,863	-1,604,883	△ 7,012,980
法人税、住民税及び事業税		-	0
当期一般正味財産増減額	-8,617,863	-1,604,883	△ 7,012,980
一般正味財産期首残高	22,709,279	24,314,162	△ 1,604,883
一般正味財産期末残高	14,091,416	22,709,279	△ 8,617,863
<b>II 指定正味財産増減の部</b>			
当期指定正味財産増減額		-	0
指定正味財産期首残高		-	0
指定正味財産期末残高		-	0
<b>III 正味財産期末残高</b>	14,091,416	22,709,279	△ 8,617,863

# 令和6年度 正味財産増減計算書内訳表

令和6年 4月 1日から 令和7年 3月 31日まで

(単位：円)

科 目	情報提供事業		公益事業		県民の医療福祉促進向上事業		正味財産		小計		法人管理		小計	合計
	調査部	広報部	学術部	学術大会・研修会開催事業	地域活動推進委員会	訪問リハ	地域活動推進委員会	災害対策	地域事業部	部対渡部	表彰委員会	法人管理		
I 一般正味財産増減の部														
1 經常増減の部														
(1) 經常収益	0	963,714	963,714	0	0	0	963,714	0	963,714	963,714	963,714	0	122,500	13,654,500
① 受取会費	0	1,391,325	34,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,425,325
② 事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	122,830
③ 学術事業収益	0	72,000	145,000	225,000	0	0	0	0	0	0	0	0	0	442,000
④ 研修事業収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	448,000
⑤ 学術事業収入	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,994,550
⑥ 受取補助金等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑦ 受取地方公共団体補助金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑧ 雑収益	0	519	214	307	186	0	13	0	70	4	0	0	116	4,828
⑨ 受取利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	482,192
⑩ 雑収益他	0	2,507,558	1,185,758	1,700,857	225,186	0	963,727	0	963,714	963,714	963,714	0	672,616	18,132,225
(2) 經常費用	0	16,816	16,816	0	0	0	16,816	0	16,816	16,816	16,816	0	71,640	189,352
① 事業経費	0	38,450	285,170	449,324	37,754	0	18,890	0	119,284	0	680	0	21,870	1,200,917
② 旅費交通費	55,720	734,639	25,402	90,294	50,320	5,417	26,350	0	529,108	46,118	14,210	0	20,179	1,647,089
③ 通信運搬費	0	97	97	0	0	0	97	0	97	97	138	0	414	1,093
④ 消耗什器備品費	2,940	309,155	1,061	7,350	255,892	735	1,080	0	62,430	0	1,714	0	5,418	333,876
⑤ 印刷製本費	0	21,143	370,573	87,453	2,278,753	790,153	106,053	0	16,193	76,693	0	0	13,400	1,095,150
⑥ 燃料費	48,574	9,000	1,006,000	269,150	1,059,536	9,861	95,324	0	84,000	26,292	0	0	859,180	4,622,387
⑦ 租税公課	0	0	0	0	634	0	174,600	0	174,600	0	1,700	0	20,832	2,698,559
⑧ 支払基金	0	1,115,415	0	0	0	0	0	0	40,000	0	0	0	1,700	523,800
⑨ 委託費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,889,631
⑩ 雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	44,676
⑪ 支払手数料	20,130	4,400	128,831	53,627	137,407	3,760	11,977	0	1,100	3,455	0	0	385	376,554
⑫ 渉外費	0	7,462	13,125	67,929	0	0	7,768	0	0	96,284	0	0	10,240	106,524
⑬ 広告宣伝費	0	180,070	0	0	595,389	0	0	0	3,360	0	0	0	0	778,819
⑭ 会議費	0	309,865	309,865	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,999
⑮ 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	382,318
⑯ 外注費	127,364	2,741,049	2,231,952	1,115,967	15,133,841	855,870	309,865	0	309,865	309,865	440,014	0	1,320,042	3,489,097
⑰ 事業経費計	127,364	2,741,049	2,231,952	1,115,967	15,133,841	855,870	309,865	0	309,865	309,865	440,014	0	1,320,042	3,489,097
(2) 法人管理費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
① 給料手当	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	126,248
② 法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	109,335
③ 会議費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	368,160
④ 旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	125,776
⑤ 通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	744
⑥ 消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	388,994
⑦ 消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	895,967
⑧ 賃借料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	181,642
⑨ 光熱水料費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,220,256
⑩ 保険料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑪ 借入金元金	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑫ 借入金利息	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
⑬ 渉外費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1,015,240
⑭ 雑費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	129,850
⑮ 支払手数料	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	473,726
⑯ 福利厚生費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	73,910
⑰ 外注費	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2,326,075
法人管理費計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	7,435,923
經常費用計	127,364	2,741,049	2,231,952	1,115,967	15,133,841	855,870	309,865	0	309,865	309,865	440,014	0	1,320,042	3,489,097
經常費用計	127,364	2,741,049	2,231,952	1,115,967	15,133,841	855,870	309,865	0	309,865	309,865	440,014	0	1,320,042	3,489,097
経常費用等調整前当期経常増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
経常費用等調整計	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
当期経常増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
経常外増減の部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(1) 経常外収益	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
(2) 経常外費用	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
当期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165
前期正味財産増減額	△ 127,364	△ 1,777,335	△ 1,266,952	△ 1,100,000	△ 13,997,000	△ 855,870	△ 309,865	0	△ 309,865	△ 309,865	△ 440,014	0	△ 1,320,042	△ 19,314,165

## 財務諸表に対する 注記

(1) 消費税等の会計処理

消費税等の会計処理は税込み方式により処理しております。

(2) 特定資産の増減額および残高

科目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
第26回学会運営費積立金	6,000,000	0	0	6,000,000
事業所取得資金積立金	5,000,120	100	0	5,000,220

(3) 特定資産の財源等の内訳

科目	当期末残高	(うち基金からの充当額)	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
第26回東海北陸学会積立金	6,000,000			6,000,000	
事業所取得資金積立金	5,000,220			5,000,220	

(4) 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額および残高

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 該当なし		0			0	
合計		0	-		0	

## 附属明細書

(1) 特定資産の明細

財務諸表に対する注記に記載を行っている。

# 財 産 目 録

令和 7年 3月31日現在

(単位：円)

科 目	場 所 等	使 用 目 的 等	金 額
I 資 産 の 部			
1 流 動 資 産			
現金・貯金			66,818
現金	事務局		3,992
	制度対策		47,826
	38回学会		15,000
普通貯金	静岡銀行本店営業部	法人運営・事業資金共通	2,864,378
郵便貯金	郵便局名古屋振替口座	法人運営・事業資金共通	160,000
未収金		R5年度シズケアかけはし(静岡県地域包括ケア情報システム)普及拠点推進事業補助金	
仮払金		第37回静岡県作業療法学会	
流動資産合計			3,091,196
2 固 定 資 産			
第26回東海北陸学会積立金	静岡銀行本店営業部	特定費用準備金の積立金	6,000,000
事業所取得資金積立金	静岡銀行本店営業部	資産取得資金の積立金	5,000,220
特定資産合計			11,000,220
固定資産合計			11,000,220
資産合計			14,091,416
II 負 債 の 部			
流動負債合計			-
負債合計			-
正味財産			14,091,416

令和 7 年 4 月 19 日

## 監 査 報 告

公益社団法人 静岡県作業療法士会  
会長 岡庭 隆門 様

公益社団法人 静岡県作業療法士会

監事 秋山 恭 延

監事 小笠原 誠

監事 勝 又 和 也

第 8 期事業年度の事業報告、計算書類、これらの附属明細書、その他理事の職務執行の監査について、次のとおり報告します。

### 1 監査の方法及びその内容

監事間の協議により監査方針を定めた上で、予算と決算の調査およびその結果、ならびに理事会に関して監査を実施しました。

具体的には、理事会その他の重要な会議に出席し、会計帳簿、会計書類、重要な決裁文書及び報告書を閲覧し、当法人の理事等から、職務の執行状況等について定期的に報告を受けまた、随時説明を求めました。

### 2 監査の結果

- (1) 事業報告及びその附属明細書は法令及び定款に従い当法人の状況を正しく表示しています。
- (2) 理事の職務の遂行に関し、不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実はありません。
- (3) 当法人の業務の適正を確保するために必要な体制の整備等についての理事会の決議の内容は相当です。
- (4) 計算書類とその附属明細書は当法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に表示しています。

以上

## 告 示

令和7年2月に公示しました令和7・8年度役員に対する立候補を令和7年4月15日付で締め切りしましたところ、理事および監事の立候補を下記の通り受け付けましたので告示いたします。

※候補者氏名（記載は受付順）

理 事	秋山 尚也	（一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津病院）	立候補
	中村 毎途	（専門学校 富士リハビリテーション大学校）	立候補
	加納 彰	（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター）	立候補
	大塚 昭宏	（独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター）	立候補
	藤田 さより	（聖隷クリストファー大学）	立候補
	稲葉 洋介	（学校法人十全青翔学園 静岡医療科学専門大学校）	立候補
	生田 純一	（農協共済中伊豆リハビリテーションセンター）	立候補
	武内 元	（訪問看護しんあい）	立候補
	伊井 玄	（静岡済生会療育センター令和）	立候補
	齊藤 洋平	（NTT 東日本伊豆病院）	立候補
	建木 健	（特定非営利活動法人 えんしゅう生活支援 net）	立候補
	村岡 健史	（常葉大学浜松キャンパス）	立候補
	岡庭 隆門	（独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター）	立候補
	川口 恭子	（公益財団法人復康会 鷹岡病院）	立候補
	大石 裕也	（医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院）	立候補
監 事	梶原 幸信	（公益社団法人地域医療振興協会 伊東市民病院）	立候補
	秋山 恭延	（浜松医科大学医学部附属病院）	立候補
	勝又 和也	（静岡清水病院）	立候補

## 選挙方法

（1）定款19条の規定に沿って決議いたします。

令和7年5月7日 公益社団法人 静岡県作業療法士会 選挙管理委員会

委員長 梅田 葉子

理事候補立候補宣伝文

秋山 尚也	一般財団法人芙蓉協会 聖隷沼津病院
<p>この度、理事に立候補させていただきました秋山尚也と申します。2019年から2期，教育部担当として新人教育，生涯育制度の管理・運営を務めさせていただきました。今年度は新生涯教育制度の運用が開始となります。会員の皆様が円滑に生涯教育をすすめていけるよう，情報発信や研修の開催などに務めていく所存です。会員の皆様，地域の皆様のために，臨床現場から発信していきたいと思ひます。よろしくお願ひいたします。</p>	
中村 毎途	専門学校 富士リハビリテーション大学校
<p>この度，初めて理事選に立候補させていただきました中村毎途と申します。これまで，学術部の活動や学会実行委員を中心に県士会活動に取り組んで参りました。作業療法士を取り巻く環境は年々変化しており，会員それぞれの働き方や自己研鑽の方法も多種多様になっています。施設の規模に捉われず，県士会という枠組の中で相互に交流し会員の皆様が研鑽できる場を作っていきたいと強く思ひ今回立候補をさせていただきました。</p>	
加納 彰	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
<p>この度，3期目の立候補をさせていただきます，加納 彰と申します。現在，地域包括ケアシステム推進委員会を担当させていただき，総合事業への参加，参画を推進してまいりました。今後は多様な背景をお持ちの対象者様に対し，領域をまたいでの対応が求められます。地域共生社会に資する作業療法士会の体制及び作業療法士の人材育成に取り組んでいきたいと考えております。よろしくお願ひ申し上げます。</p>	
大塚 昭宏	独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター
<p>この度，公益社団法人静岡県作業療法士会の理事に立候補させていただきました静岡県立こころの医療センターの大塚昭宏です。これまで2期4年に渡り，学術部，総務部の担当理事として得県士会業務を務めさせていただきました。今後の2年においては，会員の皆様のためにより良い学びやつながりの場を創出し，県士会が会員の皆様にとってより近い存在となるよう尽力したいと考えております。よろしくお願ひします。</p>	
藤田 さより	聖隷クリストファー大学
<p>この度，第4期目の理事に立候補させていただきます。これまで，西部地区担当，総務部，倫理委員会，規約検討委員会を担当してまいりました。目まぐるしく変化する時代の中で，会員の皆様のニーズに応じた柔軟で時代に即した県士会の新たな仕組みづくりに取り組みたいと考えております。会員の皆様，そして県民の皆様の健康と幸福に貢献できるよう，誠心誠意努めてまいります。何卒よろしくお願ひ申し上げます。</p>	

稲葉 洋介	学校法人十全青翔学園 静岡医療科学専門大校
<p>2006 年から県士会理事を拝命し、生活行為向上マネジメント(以下 MTDLP) 推進班の皆様と共に研修会の運営・協会からの MTDLP 関連情報を収集・発信してきました。また、静岡県作業療法連盟担当理事として、リハビリ関連職の社会的役割拡大のため、理学療法連盟、言語視聴覚士会と連携し、行政へ『リハ職の活用推進』に寄与する活動を実施しております。今後も会員の皆様に有益な県士会活動を継続できるよう務めていきたいと思っております。</p>	
生田 純一	農協共済中伊豆リハビリテーションセンター
<p>静岡県作業療法士会の理事として3期6年の任期を終えました。これまで制度対策・学術 関連にわたる業務に携わってきました。その過程で、県士会が抱える課題と共に有している可能性を深く認識しています。次の任期では、予測不能な世の中においても持続可能な学術関連の運営体制を構築するとともに、若い世代の方々が士会活動に参加しやすい環境を整え、支援することで組織の活性化を図り、次世代へ引き継ぎたいと思います。</p>	
武内 元	訪問看護しんあい
<p>この度、理事に立候補させていただきました。武内元と申します。3期目の立候補であり、現在事務局長として主に法人管理や総務、財務関連業務に関わらせていただいております。微力ではございますが、引き続き公益法人として県民や会員の皆様に有益になるような会にしていきたいと思っております。</p>	
伊井 玄	静岡済生会療育センター令和
<p>立候補をさせていただきました。伊井玄です。発達領域のOTとして24年目になります。時代の変化や社会の発達障がいを受け入れ状況など急速な変化が見られています。それに伴い日常生活、学校生活、就職や災害時の対応など社会のニーズは急速に拡大していると考えています。このニーズに対応するための人材育成にさらに力を入れて取組み、さらに県士会総務部としても総会運営などの充実を推し進めていきたいと考えています。</p>	
齊藤 洋平	NTT 東日本伊豆病院
<p>この度、理事に立候補を致しました齊藤洋平です。平成25年度より現在まで6期目を務めさせていただいております。現在は、主に福利部及び訪問リハビリテーション連絡委員会を担当させていただき、会員の共益に関する事業やPT・ST 士会合同での事業に協力させていただいております。今後も静岡県作業療法士会のさらなる発展のため、会員の皆様のために精一杯務めさせていただきたく存じます。ご支援のほどよろしくお願ひ致します。</p>	
建木 健	特定非営利活動法人 えんしゅう生活支援 net
<p>2008年より理事をさせていただいております。前期は地域事業部を担当し、作業療法の啓発事業を中心にやっておりました。これまでの経験と知識を活かし、透明性と公正さを持って意思決定を行い、引き続き作業療法士の資質向上と社会貢献に努めて参りたいと思っております。どうぞよろしくお願ひいたします。</p>	

村岡 健史	常葉大学浜松キャンパス
<p>2005年より10期20年間、理事として活動して参りました。現在は、副会長兼災害対策委員会担当理事として3士会(OT・PT・ST)での取り組みについて担当しております。また、県士会教育部が主体として運営する臨床実習指導者講習会の責任者として活動しております。県士会および会員皆様へのさらなる飛躍に向けて尽力するのはもちろんのこと、公益社団法人として県民の医療福祉に寄与して参りたく存じます。よろしくお願い申し上げます。</p>	
岡庭 隆門	独立行政法人静岡県立病院機構 静岡県立こころの医療センター
<p>2020年より3期会長を務めさせて頂き、会員にとって身近で頼りになる県士会となれるよう、財政管理・規約の整理など法人の基盤整備や部員謝金への対応を初めとする各部事業の成熟に尽力させていただきました。就任当初より新型コロナウイルス対応に苦慮しつつも、理事一丸となり、柔軟で迅速な対応に務め今期末を迎えられたものと考えております。今後も我々を取り巻く状況変化への迅速は対応に務めるとともに、何よりも会員の皆様が「身近に感じ、かつ頼りになる県士会」としての体制と事業に努めていきたいと考え次期も引き続き立候補させていただきたく決意を新たにしております。皆様引き続きご協力のほどよろしくお願い申し上げます。</p>	
川口 恭子	公益財団法人復康会 鷹岡病院
<p>この度、理事に立候補を致しました川口恭子と申します。前任期では、副会長、学術部、財務部の活動を担当しております。会の資金が適切に使われ、各部局を財務の面から活動の整合性を確認する体制づくりに取り組んで参りました。県士会の活動が引き続き、持続可能で且つ時代の流れに合ったことが出来るよう、尽力して参ります。県士会の更なる発展と、会員の皆様に信頼していただけるよう努めて参ります。よろしくお願い申し上げます。</p>	
大石 裕也	医療法人社団清明会 静岡リハビリテーション病院
<p>理事として3期を務めて参りました。主に広報部、中部地区担当、地域包括ケアシステム推進委員会、そして静岡県リハビリテーション専門職団体協議会の地域包括ケア推進委員長として関係団体との協議に努めて参りました。静岡県作業療法士会のDX化を推進し、情報の共有と会員・士会の相互交流、運営の効率化と継続可能な士会活動を目指していきたいと思っております。</p>	

監事候補立候補宣伝文

梶原 幸信	公益社団法人地域医療振興協会 伊東市民病院
<p>監事に立候補した梶原幸信です。日頃は伊豆半島東海岸にある伊東市民病院に勤務し、リハビリテーションの開始時から作業療法もチームに関わる地域づくりを目指して精進させていただいております。以前、静岡県作業療法士会では、理事、事務局長、副会長を経験し、監事として再び本県士会に関わらせていただきたいと思います。よろしくお願いいたします。</p>	
秋山 恭延	浜松医科大学医学部附属病院
<p>私は、この4年間監事を経験して、当法人は会員の協力無くして成り立たない組織であることを再認識しました。コロナ禍では、多くの制約の中で運営を強いられていましたが、今後、県民の健康に寄与する組織として、会員一丸となってさらなる発展をしていくことが、当法人に求められています。今回、会長、理事の方々を下支え出来ればという思いで、監事に立候補した所存です。</p>	
勝又 和也	静岡清水病院
<p>公益法人の役割は、県士会の様々な活動がまず会員にとって有益なものになること、さらにその活動を通して広く県民に還元することです。公益法人としての役割を果たすために、各部局の活動内容と、その活動を実行するためのお金の流れを精査するために監事に立候補いたします。</p>	

会長 岡庭 隆門

## I. 全般

現在、静岡県においても地域包括ケアシステムの醸成が進捗するなか、医療・介護・福祉の枠に捉われない多職種連携が求められている状況に変わりはありません。

当士会では、静岡県内の作業療法士が障害種別を問わず、また障害があっても無くても幅広い対象の方の「思い」と具体的な「生活」を視点におき「誰もが安心して自分らしい暮らしをおくることができる」ために「その人らしい暮らしへの希望を支え（寄り添えて）、その暮らしの継続や構築のための具体的な支援の方策と技術を有し、ちゃんと役に立つ、きちんと周囲とつながれる、話がちゃんと通じる専門職としての役割を十分果たしていけるよう、学術研鑽と人材育成に向けて成果のある事業を継続して展開していきたいと考えています。そのためには、社会のニーズに迅速かつ効果的に対応できる機動力と、会員や県民・市民への迅速で効果的な情報の発信や啓発・相互の情報共有と組織力の強化は最も重要であると考えています。

そのために、事業の目的と内容に応じた多様性のある運営の検討と実施に、部局を超えて取り組むとともに、ICT 活用に積極的に取り組んで、「誰にとっても身近で役に立つ県士会」を目指して行きたいと考えています。

また、県士会の「中長期ビジョン」と「ライフワークバランス（会員誰もが活躍しやすいプロジェクト）」の2つのワーキングは継続し、会員の誰もが活躍しやすいように具体的な方策を推進すると共に、県士会の将来構想についての検討を進め、5年後10年後を見据えた組織作りと専門職としての組織連帯の強化を目指します。

共生社会構築に寄与するため、地域密着型の県士会体制を更に進めると共に、財政・法人管理事業のブラッシュアップを目指します。以上を踏まえ当士会では、令和7年度の重点項目を、①会員に向けた研修会・学会等は、分野横断的・重層的な視点での開催の促進と共に、ライフイベントや勤務形態の多様化に対応した短時間近隣・オンラインや動画配信による研修への検討と具現化の促進②県民に向けた普及啓発事業・行政委託事業の推進③新教育システムへの対応と新人教育体制の整備④組織率維持に向けて、会員メリット（福利厚生・様々な方式での還元など）の検討⑤会員相互の密接な繋がりと組織化の成熟を目指す⑥協会＝県士会の実施に向けた会員管理・事務詳細について課題整理し対応⑦法人管理事業については、機能強化、可視化、合理化を進める（資金運用についての整理・報酬体系の課題の整理と見直し）としました。

また、静岡県理学療法士会、静岡県言語聴覚士会との協働により、①県民へのリハビリテーション啓発事業、②地域リハビリテーション活動支援事業に関する人材育成と適正な人材の推薦、③訪問リ

ハビリテーションに関わる人材育成，④大規模災害時のリハビリテーション支援事業を推進していきます。これらの活動により，静岡県における医療・介護・福祉のサービスの向上に努めていくと共に三団体協議会会員の資質向上と会員相互の交流を促していきたいと考えています。

以下，令和 7 年度重点項目を基に，各部局で事業計画を作成しました。どうかこの 1 年，これらの事業が滞りなくスムーズに運営できるよう，会員の皆様のご理解とご協力をお願い致します。

## 令和7年度 各部事業計画

### 【渉外部】

1. 日本作業療法士協会長・都道府県士会長会議への出席
2. 日本作業療法士協会制度対策部との連携
3. 三団体協議会役員会への出席
4. 各種関連団体の学会・公開講座等への後援，記念式典への出席
5. 県内養成校の入学式，卒業式への対応
6. 静岡県や行政機関との会議・検討会への出席
7. 自治体事業等への委員派遣
8. 自治体，関連団体への講師派遣
9. その他，渉外交流活動

### 【東海北陸作業療法連絡会】

1. 東海北陸リーダー養成研修会参加者の推薦（岐阜県予定）

### 【学術部】

1. 学術部研修会

- 1) 高次脳機能障害・モビリティー班

#### ①第35回勉強会

開催日：令和7年7月（予定）

会 場：現地開催

内 容：調整中

講 師：外部講師を調整中

#### ②第36回特別勉強会

開催日：令和7年11月（予定）

会 場：オンライン開催

内 容：調整中

講 師：外部講師を調整中

③高次脳機能障害家族会勉強会支援

開催日：毎月第3土曜日

2) 精神障害班

①第1回研修会

開催日：令和7年7月中旬

講 師：調整中

テーマ：個別支援（予定）

会 場：ハイブリッド開催（静岡市内）

②第2回研修会

開催日：令和7年10月～11月頃

講 師：調整中

テーマ：若年層精神疾患患者における精神科の支援（予定）

会 場：ハイブリッド開催（静岡市内）

③第3回研修会

開催日：令和8年1月～2月頃

講 師：調整中

テーマ：調整中

会 場：未定

WG：県自立支援協議会地域移行部会 研修，ピア交流会・ワーキング会議（予定）

令和7年7月，8月，11月，令和8年1月（予定）

④司法WG：広報誌等にて司法作業療法に関する情報の発信

### 3) 発達領域班

#### ①スキルアップ研修会

開催日：令和7年7月頃

会場：三島市（予定）

内容：OTの評価・治療の視点を学ための研修会を予定

講師：調整中

#### ②人材育成研修会

開催日：令和7年11月頃

会場：浜松市福祉交流センター（予定）

内容：調整中

講師：調整中

#### ③公開講座

開催日：令和7年8月（予定）

会場：静岡県男女共同参画センターあざれあ（予定）

内容：調整中

講師：調整中

#### ④アンケート調査

富士圏域を調査対象とし、放課後デイなどの一人職場になりやすい施設での作業療法士を県士会と結びつけ、学習する場を提供する。

#### ⑤発達領域班勉強会

開催日：調整中

会場：オンライン開催（予定）

内容：調整中

### 4) 認知症班

#### ①認知症作業療法ステップアップ研修会

開催日：令和7年11月～12月頃

講 師：調整中

会 場：ハイブリット開催予定（現地は調整中）

②認知症作業療法 WG 研修会

開催日：令和8年1月～2月頃

講 師：調整中

会 場：ハイブリット開催予定（現地は静岡市内を予定）

5) 福祉用具班

班機能について検討を進める。

2. 第38回静岡県作業療法学会

開催日：令和7年6月14日（土）・6月15日（日）

会 場：アクトシティ浜松コンgresセンター

テーマ：縦往開来

学会長：秋山 尚也 氏（聖隷沼津病院）

3. 学術部各地区会議（随時）を予定

4. 学術部責任者会議（4回）

開催日：令和7年6月，9月，12月，令和8年3月

内 容：学会演題採択，班活動，WG 活動の報告と課題の検討

会 場：オンライン開催

【教育部】

1. 現職者研修

1) 令和7年度新人対象 新人オリエンテーション（対面）

令和7年度前会員対象 現職者共通研修（対面）

開催日：令和7年5月11日（日）

会 場：レイアップ御幸町ビル

新生涯教育制度の概要について

講 師：秋山 尚也 氏（聖隷沼津病院）

テーマ①：「作業療法生涯教育概論」

講 師：岡庭 隆門 氏（静岡県立こころの医療センター）

テーマ②：「作業療法における協業・後輩育成」

講 師：渡邊 信介 氏（湖山リハビリテーション病院）

テーマ③：「実践のための作業療法研究」

講 師：村岡 健史 氏（常葉大学）

## 2) 現職者選択研修（精神障害領域の作業療法）

開催日：令和7年10月4日（土）（予定）

会 場：東部地区（WEB）

講 師：未定

## 3) 第2回現職者共通研修

開催日：令和7年11月16日（日）（予定）

会 場：西部地区（WEB）

講 師：未定

テーマ①：「保健・医療・福祉と地域支援」

テーマ②：「日本と世界の作業療法の動向」

テーマ③：「作業療法の可能性」

テーマ④：「職業倫理」

## 2. 事例報告会

### 1) 東部・中部・西部地区

①開催日：令和7年8月3日（日）・12月13日（土）（予定）

会 場：オンライン開催

内 容：「事例報告と事例研究」「事例検討」「事例報告」

講 師：未定

### 3. 生涯教育相談会

開催日：令和8年2月（予定）

会 場：オンライン開催

内 容：基礎研修，登録OT，認定OT，専門OT取得に向けた個別相談対応

### 4. 臨床実習指導者講習会

開催日：①令和7年7月19日（土）・20日（日）（予定）

②令和7年10月18日（土）・19日（日）（予定）

会 場：オンライン開催

### 5. MTDLP 研修会

#### 1) MTDLP 基礎研修会（現職者選択研修＜必修＞）

内 容：MTDLP 概論，演習，事例報告にむけて

①開催日：令和7年9月7日（日）

会 場：レイアアップ御幸町ビル

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），  
青柳 翔太 氏（静岡医療科学専門学校）他

定 員：60名

②開催日：令和8年2月8日（日）（予定）

会 場：レイアアップ御幸町ビル

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），  
青柳 翔太 氏（静岡医療科学専門学校）他

定 員：45名

#### 2) MTDLP 実践者研修（MTDLP 事例報告会）

開催日：7月・11月開催予定

会 場：オンライン開催

講 師：尾崎 勝彦 氏（JA 遠州夢咲 福祉センター），  
青柳 翔太 氏（静岡医療科学専門学校），ファシリテーター 他

内 容：協会が指定する一事例45分間の事例検討会（発表・ディスカッション込）

3) MTDLP 実践者研修 (MTDLP 事例検討会) 出前講座

開催日：申込みに応じて開催 <同施設から2名の MTDLP 事例発表者募集中>

会 場：オンライン開催

講 師：尾崎 勝彦 氏 (JA 遠州夢咲 福祉センター) ,  
青柳 翔太 氏 (静岡医療科学専門学校) , ファシリテーター 他

内 容：協会が指定する一事例 45 分間の事例検討会 (発表・ディスカッション込)

4) 外部講師による MTDLP 講演

内 容：MTDLP を活用した臨床実践 (仮)

開催日：未定

会 場：オンライン開催

講 師：未定

定 員：40 名

5) MTDLP 推進班 部会

内 容：各研修会前に事前打ち合わせ

事例検討打ち合わせ (講師・ファシリテーターと事例読み合わせ)

6) 日本作業療法士協会 MTDLP 全国推進会議 (WEB 出席)

6. 教育部会

開催日：令和7年5月, 7月, 9月, 12月, 令和8年2月 (予定)

会 場：オンライン開催 (令和8年2月は参集し全体会議開催)

内 容：事業報告, 事業計画

7. 日本作業療法士協会 生涯教育制度推進委員会・MTDLP 推進委員会への出席

8. 日本作業療法士協会 生涯教育制度の問い合わせ等への対応

## 【広報部】

### 1. 広報活動

1) 会報誌（OT しずおか 157～160 号）の編集・発送

2) 一般向け広報誌の発刊 Vol.10

設置個所の拡大のための依頼

3) 広報啓発グッズの作製と配布

各部局と協力・連携して配布・不足分の追加

### 2. 県士会ホームページの管理・運営

1) 県士会情報・関連団体からの情報を発信

2) 情報発信ツールの運用（HP・SNS）

### 3. 広報戦略検討事業

1) 会報誌の電子化についての検討

2) HP・SNS に続くデジタル媒体の検討

3) 費用高騰に対する検討

### 4. 管理・運営

1) 広報部会の開催（対面＋WEB 開催）

## 【福利部】

### 1. しずおか OT トーク

開催日：令和7年7月，10月，令和8年2月（予定）

会 場：オンライン開催

内 容：「子育て世代の支援」「ライフワークバランス」「日々の悩み，問題解決の方法等」で  
ディスカッション

### 2. 第11回静岡 OT リーダー育成研修会

開催日：令和7年11月（予定）

会 場：未定

内 容：講義，演習，ナイトセミナー

定 員：30名（予定）

3. 第2回しずおかOTスポーツde交流会開催

開催日：令和7年7月（予定）

会 場：未定

内 容：有志チームによるボウリング大会を開催し，会員相互の交流親睦を図る

4. 各地区タウンミーティング・各地区新人歓迎会の支援

5. 第38回静岡県作業療法学会レセプション

開催日：令和7年6月14日（土）（予定）

定 員：120名（予定）

6. 福利部会の開催

【制度対策部】

1. 日本作業療法士協会制度対策部との連携（情報収集，問い合わせへの対応）

2. 医療保険・介護保険・障害福祉関連情報発信（ホームページ）

3. 制度対策部研修会

1) 第1回制度対策部研修会

開催日：令和7年10月（予定）

会 場：オンライン開催（予定）

内 容：検討中

2) 第2回制度対策部研修会

開催日：令和7年12月（予定）

会 場：オンライン開催（予定）

内 容：検討中

4. 制度対策部会の開催

### 【調査部】

1. 第 38 回静岡県作業療法学会 学会参加者アンケート実施・集計
2. 日本作業療法士協会 生活環境支援推進室「生活行為工夫情報」活動
3. 現況調査
4. 施設代表作業療法士会議 企画・運営

### 【中長期ビジョン WG】

1. 今後の県士会運営についての検討および提案
2. 会議の開催（オンライン開催・メールによる意見交換含む）
  - 1) 会員組織率の維持と会員への還元についての検討
  - 2) 組織の見える化（部局の役割）について検討
  - 3) 学会運営と研修会等事業の適正化について検討

### 【ライフワークバランス WG】

1. 「会員誰もが活躍しやすい県士会を目指すプロジェクト」について検討・企画
  - 1) 「参加しやすい県士会」について検討
  - 2) 「離職者の再就職支援」について検討
  - 3) 「子育て世代の支援」について検討
2. 各種県士会活動への提言

### 【地域事業部】

1. 作業療法士次世代育成
  - 1) 高校生施設見学  
開催日：令和 7 年 8 月（予定）  
会 場：作業療法士が勤務する各病院・施設等

内 容：参加施設を募り実施

2) 高校出前講座

開催日：随時

会 場：各高校

内 容：作業療法の仕事紹介

2. 一般市民作業療法見学

開催日：随時

会 場：県内協力施設

内 容：ホームページ上で参加者を募集・見学の実施

3. 子どもたちの学習サポート事業

自助具作成動画配信

自由研究の課題として県内全域の小学5・6年生対象，県士会 HP に配信

4. しあわせフォトコンテスト

応募期間：令和7年9月～12月（インスタグラムにて募集）

5. 福祉イベント参加事業

ぬまづ福祉まつり

開催日：令和7年10月（予定）

会 場：キラメッセぬまづ（予定）

6. メディメッセージ 2025

開催日：令和7年11月15日（土），16日（日）

会 場：キラメッセぬまづ

内 容：未定

7. スポーツ振興事業

内 容：障害者スポーツ等の支援

#### 【法人管理委員会】

1. 情報収集活動の継続
2. 法人としての団体の管理
3. 他団体との法人管理に関する情報交換及び情報提供
4. 細則の作成及び修正
5. 定期提出書類の作成及び提出

#### 【災害対策委員会】

1. 災害時緊急対応マニュアルの体制作り
2. JIMTEF・BHELP 研修会への委員参加
3. 委員の増員：1名
4. 災害時緊急連絡システムの構築及び災害訓練
5. 情報伝達手段の準備
6. 第14回静岡災害リハビリテーション研修会の開催：令和7年12月13日（土）、14日（日）（予定）
7. 令和7年度静岡災害リハ支援者養成研修会の開催：令和7年7月（予定）
8. 静岡 JRAT・三団体協議会災害対策合同委員会への出席
9. 他団体との連携

#### 【訪問リハビリテーション連絡委員会】

1. 訪問リハビリテーション地域リーダー会議への出席  
開催日：令和7年7月（予定）  
会 場：オンライン開催（予定）  
訪問リハビリテーションフォーラムの開催は未定
2. 訪問リハビリテーション研修会（人材育成研修会）の開催  
開催日・開催方法：未定

### 3. 訪問リハビリテーションシンポジウムの開催

開催日・開催方法：未定

#### 【地域包括ケアシステム推進委員会】

##### 1. 運営会議

開催日：令和7年5月，11月，令和8年2月（年3回オンラインまたは現地開催）

内 容：当年度計画，研修会話し合い，次年度計画

##### 2. 人材育成事業

###### 1) 地域リハ推進リーダー研修会（基礎編・応用編）

開催日：令和7年8月～11月（予定）

会 場：基礎編；オンデマンド

応用編；ハイブリッド（各地区参集型）にて開催

###### 2) 地域リハ推進リーダー研修会（フォローアップ 座談会）

開催日：令和7年8月，令和8年2月（2回予定）

会 場：オンライン開催

###### 3) 地域リハ推進リーダー スキルアップ研修（実践者報告会）

開催日：令和7年12月

会 場：中部地区での現地開催

##### 3. 日本作業療法士協会地域包括ケアシステム推進委員会との情報共有と情報発信

##### 4. 静岡県リハビリテーション専門職団体協議会地域包括ケアシステム推進委員会との連携

#### 【表彰委員会】

##### 1. 令和7年度静岡県作業療法士会功労表彰の実施

会報誌等へ掲載 学会の開催方法に合わせた式典を実施

##### 2. 令和7年度静岡県作業療法士会感謝状授与の実施

会報誌等へ掲載 学会の開催方法に合わせた式典を実施

3. 日本作業療法士協会・各団体からの表彰対象者の選考及び推薦
4. 県内養成校優秀学生の表彰（4校各1名）

【事務局・財務部・総務部】

1. 事務局

1) 会員管理業務

- ①会費請求・会費入金処理・会員管理システム管理運営
- ②会費督促状の作成・発送

2) 県士会窓口業務

- ①対外的な窓口・公文書への対応
- ②会員からの問い合わせ対応等

3) 事務局の維持管理

- ①事務所及び備品の管理運営
- ②県士会の維持管理

2. 財務部

1) 会費・運営費の管理

- ①各部局の出納帳確認と会計ソフト入力

2) 予算書・財務諸表作成

3) 会計マニュアルの修正・作成

4) 財務部会・会計担当者会議の開催

5) 部員謝金・当日運営スタッフ謝金支給

3. 総務部

1) 理事会の運営

2) 総会の運営

- ①総会議案集の作成・発送

②令和7年度定時社員総会開催

3) 規程等規約検討・作成

①規約検討委員会の開催

4) 総務部会の開催（理事会前に開催予定）

5) 県土会部局退任者への感謝企画の運用

